



第4回 大阪マラソン



チャリティ寄付先団体公募

募集要項



チャリティ文化の普及をめざして。 合言葉は「みんなでかける虹。」

大阪マラソンは「みんなでかける虹。」を合言葉に、すべてのランナーに対し、大阪マラソンのチャリティプログラムにご賛同いただき、虹にちなんだ7色のチャリティカラーに沿ったチャリティテーマから、ご自分が支援したいテーマを選んでチャリティ募金にご協力いただいています。

大会組織委員会では、7つのチャリティテーマと、虹色（東日本大震災復興）のテーマを設定し、第3回大会までは、各テーマごとに1団体（一部、2団体）合計9団体を寄付先団体として、選定してまいりました。チャリティの発展と普及、さらなる社会貢献をめざし、第4回大会（平成26年10月26日（日）開催）から寄付先団体の公募を開始することとなりました。是非とも趣旨にご賛同いただき、積極的なご応募をお待ちしております。

● 世界基準のチャリティマラソンをめざして ～ 多彩な取り組み

① ランナー全員がチャリティに参加

参加ランナーには、参加料とは別に、おひとり様 2口以上（1口500円）のチャリティ募金をお願いしております。チャリティ募金は、支援を希望されたチャリティテーマに属する寄付先団体に対して寄付されます。

② 寄付を集めて走るチャリティランナー

第3回大会では、寄付先団体を宣言し、7万円以上の寄付金を集めた場合に、大阪マラソンに出場できる「チャリティランナー」を募集しました。第4回大会も「チャリティランナー」を募り、チャリティへの参画意識の向上と、寄付先団体との交流を通じて、チャリティを拡充していきます。

③ 大阪マラソンは下記のようなチャリティプログラムをたくさん用意しています。

- チャリティアンバサダーを活用した広報PRの展開
- 大阪マラソン特設サイトの開設（ジャスト・ギビング・ジャパン内／チャリティアンバサダー・チャリティランナー）
- なないろチャリティTシャツ販売
- 応援メッセージ（寄付先団体・チャリティアンバサダー）
- 公式、関連イベント、商店街イベントとの連携などあらゆる機会を活用した募金活動（募金箱の製作・設置等）
- EXPO会場でのチャリティ活動（チャリティブースの設置・チャリティステージ等）
- 寄付先団体との連携

1 公募の目的

チャリティ活動のさらなる発展をめざし、寄付先団体を広く募ることにより「チャリティマラソン」としての支援の輪を広げ、チャリティ文化の普及をめざしてまいります。

2 公募対象分野（チャリティテーマ）

活動地、支援先は国内・国外問いません。

大阪から世界へ、私たちから次の世代へ架ける支援の虹。7色の虹をテーマに、以下のような活動を行っている団体を求めます。かっこ内の色は、大会組織委員会が定めるチャリティテーマカラーです。なお、第4回大会から「東日本大震災復興支援」を目的とした団体も、下記の7つのチャリティテーマの枠組みの中で、ご応募いただくことができます。これまでのチャリティテーマについては <http://www.osaka-marathon.com/charity/about.html> をご参照ください。

① 生きる希望を支える（赤色）

治療方法が確立していない病気、新たな医療技術の開発に貢献している団体等

② 夢を支える（オレンジ色）

スポーツ振興、競技力と技術環境向上、障がい者スポーツ支援、指導者育成に貢献している団体等

③ 家族を支える（黄色）

難病の子ども支援、病気の長期療養で苦しむ家族や、高齢者の孤独死を防いだり、地域コミュニケーションの構築などを支援している団体。誰もが安心して笑顔で暮らせるために活動している団体等

④ 自然を支える（緑色）

森林再生や保全活動を行っている団体等

⑤ きれいな水を支える（水色）

人々の命を守る水の供給設備支援や、環境整備活動を行っている団体等

⑥ 子どもの未来を支える（紺色）

世界中の子どもたちが安心して学び、運動できる環境づくりを行っている団体。虐待をなくし、貧困問題解決に向けた活動を行っている団体等

⑦ 美しいまちを支える（紫色）

歴史的景観の保存、修復に関する活動を行っている団体。地域清掃など街をきれいにする活動を行っている団体等

3 応募資格（次の条件を全て満たすものとする）

- 1 大阪マラソンチャリティプログラムに賛同し、大会組織委員会と協力して、チャリティ文化の普及に主体的に取り組むこと。
- 2 大阪マラソンチャリティプログラムについて、積極的に広報・PRすること。
（主催者手配のツール活用・各団体発行のメールマガジン配信の活用など）
- 3 寄付先団体は、大会組織委員会が行うチャリティランナーの募集にあたり、募集の呼びかけなど積極的に関わるものとする。また、チャリティランナーのサポート交流につとめること。
- 4 大阪マラソンEXPO2014へ出展すること。スタッフを派遣し、各団体のブースの装飾を行い、EXPO会場での広報・PR、募金活動を行うこと。
- 5 一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパンが運営するファンド・レイジング・サイト「Just Giving Japan」に支援先団体として登録していること。
※ ジャスト・ギビング・ジャパンとは、寄付金集めのポータルサイトです。同サイトでは、各団体の情報発信を行うことができ、寄付を得られる基盤づくりが整います。
- 6 活動実績が3年以上の日本国内に拠点を持つ特定非営利活動法人（NPO法人）、一般社団・財団法人、公益社団・財団法人で、以下の書類が提出可能な団体であること。
＜必要書類（＝申請時添付書類）＞
定款、役員名簿、直近年度の事業報告書、当該年度の事業計画書、予算書、団体発行の刊行物
※ 一般社団・財団法人の場合、非営利型の定款を提出すること。
- 7 最新決算時において法人設立登記後3年以上経過し、かつ1年間の年度決算書等をWEBで開示していること。
- 8 過去1年以内の寄付金活用実績が提出できる団体であること。
- 9 利益を団体の構成員で分配していないか、万が一団体が解散する場合でも、財産を団体の構成員で分配しない規約になっているかどうか確認できること。
- 10 ホームページで活動が閲覧できる団体であること。
- 11 毎事業年度末に、必ず書面で、寄付金の用途を記載した事業報告書を大会組織委員会に提出すること。
- 12 団体名義の金融機関口座を持っていること。
- 13 以下のいずれにも該当しない団体
 - 個人的な活動や趣味的なサークルなどの団体
 - 政治活動や宗教活動を主たる目的とする団体
 - 反社会的勢力と関係を持つ団体

4 応募期間

2013年(平成25年)

11月1日(金)～11月29日(金) [午後5時必着]

【応募方法】

大会ホームページより、応募用紙(申込書、様式①～④、参考資料)をダウンロードし、必要事項をご記入の上、charity@osaka-marathon.com までメールで送信して下さい(メールで送信できないものは下記まで送付して下さい)。

<添付書類・郵送等(各1部)>

定款、役員名簿、直近年度の事業報告書、当該年度の事業計画書、予算書、
団体発行の刊行物

※ 一般社団・財団法人の場合、非営利型の定款を提出すること。

<提出先>

大阪マラソン組織委員会事務局 チャリティ担当

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎35F

電話：06-6210-9317 FAX：06-6210-9318(平日 午前10時～午後5時)

5 寄付先団体数と活動期間

<寄付先団体数>

各テーマの応募状況に応じて決定します。(1テーマに複数の団体を決定する場合があります。)

<チャリティテーマの選択について>

2の公募対象分野(チャリティテーマ)の7つの中から1つお選び下さい。(複数選択不可)

<活動期間>

平成26年4月～平成27年3月末まで。

(ただし、活動実績等の状況を踏まえ、次年度以降の更新を行う場合があります。)

6 選考基準

提出された書類に基づき、主催者で書類選考し、寄付先団体を決定します。選考結果については、2014年1月末までに団体に書面でお知らせするとともに、決定団体名を大会ホームページに掲載します。

※内容等の質問、異議申し立てには応じられません。

以下の基準で選考を行います。

選考の視点1：応募動機と活動状況

選考の視点2：チャリティプログラムに対する意欲

- 大阪マラソンを通じたチャリティに意欲があること。
- チャリティ文化普及へ共感し、協力的かどうか。

選考の視点3：コラボレーション企画の提案力

- 大会運営に対する協力が期待できるか。（例）チャリティランナー制度への協力など
- EXPOブースの展開案が魅力的かどうか。
- 各団体が持っているツールを大阪マラソンチャリティプログラムで活用する意図が感じられる提案内容かどうか。
- 提案が実行可能なものと判断できるか。
- チャリティランナーサービス（8ページ参照）について適切な盛り上げ策が含まれているか。

選考の視点4：告知や広報活動を積極的に行える団体かどうか

- ホームページなどでの活動発信が充実しているか。
- SNSなどのツールを活用しているかどうか。
- 広報誌・機関誌を発行しているかどうか。
- チャリティプログラムの発信方法に先進性、積極性が認められるかどうか。
- 常にPR策に工夫と斬新さを感じられるか。

選考の視点5：募金活動の取り組みについて

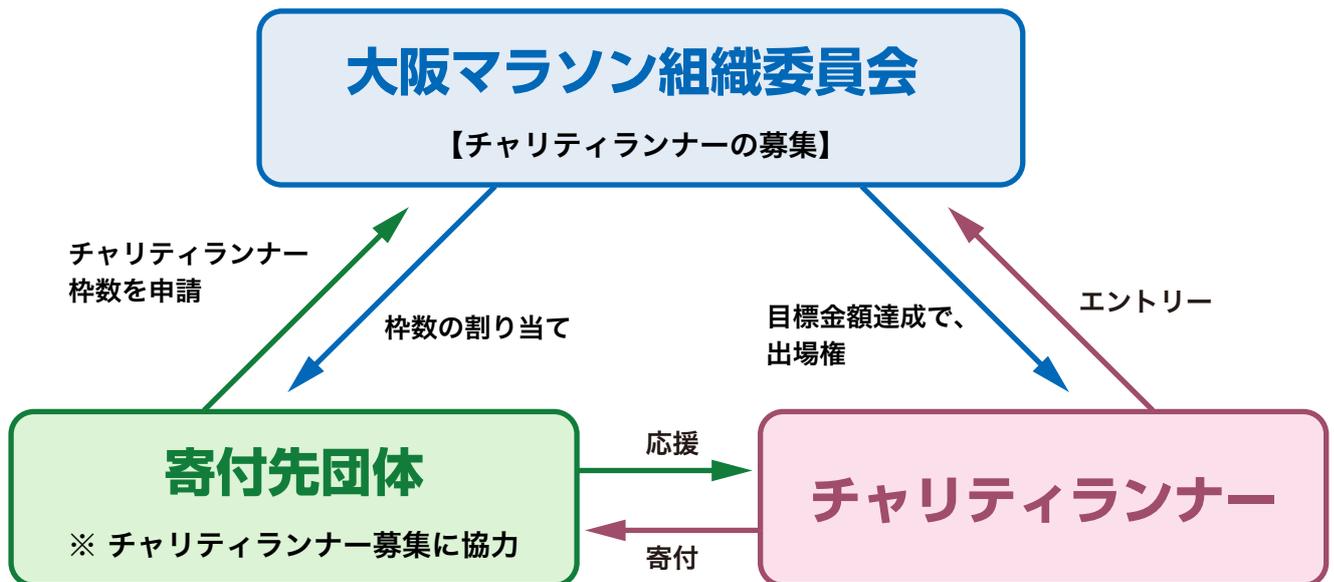
- 募金額を増やすための意欲、工夫が見られるか。
- 募金活動に対するノウハウを備えた団体か（過去実績）。
- 大阪マラソンのチャリティの活用成果や有効性が確認できるか。

7 寄付先団体にご協力いただきたいこと

寄付先として採択された団体は、大会組織委員会と協力して、**A** から **C** までの活動を通じてチャリティ文化の普及に取り組んでいただきます。

A チャリティランナー制度への協力

- 大阪マラソン定員3万人のうち、寄付先団体から申請された人数に応じ、各テーマ別に、チャリティの取り組みをPRしていただくランナー枠を設けます。
- チャリティランナーは、組織委員会が募集しますが、テーマと寄付先団体を選択することで、当該寄付先団体の枠を活用したランナーとなります。チャリティランナーは、ジャスト・ギビング・ジャパンのサイトに登録し、チャレンジ宣言を行い、寄付先団体からの応援もいただきながら、期間内の目標額達成をめざして寄付活動を行います。
- 目標金額達成後は、ランナーはマラソンに出場し、寄付金は当該団体に振り込まれます。



各寄付先団体には、チャリティランナー制度の実施にご協力いただきます。大会組織委員会、寄付先団体が一体となってチャリティランナーのチャレンジを支えます。

寄付先団体

- 1 チャリティランナー枠数の申請時に、希望する口数を記入していただきます。1口10枠（1枠：15,000円）で、2口以上の申し込みをお願いいたします。後日、チャリティランナーの枠数分の費用をお支払いいただきます。
- 2 WEB、フェイスブック、刊行物などのツールを活用し、チャリティランナーの応援や、大阪マラソンチャリティプログラム全体の広報・PRにご協力いただきます。

チャリティランナー

- 1 ジャスト・ギビング・ジャパンのサイトに登録し、チャレンジ宣言を行い、チャレンジがスタートします。寄付目標金額には、登録時に徴収する20,000円の寄付金を含みます。
- 2 チャリティランナーの寄付目標金額は、ランナーエントリー時の自己申告制（ただし、7万円以上）にいたします。
- 3 5月から10月までがチャレンジ期間です。その間に、目標金額以上の寄付金を集めたランナーが、大阪マラソンの出場権を得ることができます。目標金額以上集めることができなかった場合でも、満たない金額分をチャリティランナーご本人に負担していただき、出場していただきます。

大阪マラソン組織委員会

- 1 寄付先団体からの申請に基づき、チャリティランナー枠の割り当て調整を大会組織委員会で行います。
- 2 4月上旬からチャリティランナーのエントリー募集を行います。5月中旬にはランナーの選抜を行い、該当者に通知します。
- 3 集まった寄付金は、ジャスト・ギビング・ジャパンのサイトを通じて寄付先団体に全額寄付します。（別途、JGJ利用料・決算手数料がかかります。）

注意点

本チャリティプログラムは一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパンが運営するファンドレイジングサイトと連携して行います。

B 大阪マラソンEXPO2014にチャリティブースを出展していただきます。会期中スタッフの派遣が必要です。

【ブース出展料は無料】

【会場：インテックス大阪 期間：平成26年10月24日(金)、25日(土)】



C チャリティランナーサービスへの協力

マラソンEXPO会場と、当日のフィニッシュ会場で、チャリティランナーサービスを実施します。ランナーサービス用のスペースを設置し、それぞれの団体の寄付金を集めたチャリティランナーの皆さんとの交流を図っていただく機会を提供します。各団体には、以下のサービス案をもとに、ランナーサービスの向上を図っていただきます。※EXPO2日間、当日1日

〈 サービス案 〉

1 チャリティランナー専用受付

EXPO会場のランナー受付ゾーンにて、一般ランナーとは別に、チャリティランナー専用レーンを設置。待機することなくスムーズに受付を行うことができます。

2 ホスピタリティラウンジ(スタート/フィニッシュ)

チャリティランナー専用のラウンジを用意。

3 オリジナルグッズ

大会組織委員会で作るオリジナルチャリティTシャツの進呈。その他、各団体からもノベルティグッズをご提供下さい。



8 寄付金について

チャリティプログラムで集まった2012年度の寄付金は以下のとおりです。

	チャリティカラー	チャリティテーマ	チャリティ募金
1	赤	がんを撲滅する活動を支援しよう	5,160,758円
2	オレンジ	障がいのあるアスリートを応援しよう	4,826,375円
3	黄	病気に苦しむ子どもと家族を励まそう	5,742,924円
4	緑	森林をよみがえらせ、育てていこう	4,784,927円
5	水色	きれいな水を飲める世界をめざそう	4,704,913円
6	紺	子どもたちの心と体づくりを支えよう	4,824,439円
7	紫	景観を守り、美化する活動を広げよう	4,584,263円
8	虹色	復興に向け、ひとつになろう	10,581,774円
		合計	45,210,373円

※注釈 2のオレンジについては該当団体が2団体だったため、各団体専用募金箱への寄付金を除いて、2団体で配分しています。

寄付金の配分は以下のように行います

<すべて該当団体に入金されるもの>

- チャリティランナーが集めた寄付金（ただしジャスト・ギビングのシステム使用料を差し引いた金額となります）。
- 各団体専用募金箱への寄付金

<集まった金額を団体数により配分するもの>

●各テーマカラーに属する団体数での配分

- ランナーがエントリー時に選択したチャリティテーマへの寄付金
- なないろチャリティTシャツの販売による寄付金
- チャリティカラーの指定されている募金箱の募金

●寄付先団体全体数での配分

- 公式イベントや関連イベントの会場で集められたチャリティカラーの指定していない募金箱の募金

(注意) 寄付金の一部はチャリティプログラムの運営費用に充当いたします。運営費用は、募金箱制作に関わる費用、寄付金の送金手数料等です。

9 寄付先団体の取り消しについて

各団体が以下に掲げるいずれかの行為を行った時は、大会組織委員会の判断により、寄付先団体の資格を取り消します。

- ① ③に定める応募資格を満たさなくなった場合
- ② 寄付先団体またはその取引先が、反社会的勢力の構成員もしくはその関係者であることが明らかになった場合。
- ③ 団体が活動を停止する場合、あるいは解散またはその手続きに入った場合。
- ④ 法人格の認証が取り消されるなど非営利団体としての活動が困難な場合。
- ⑤ 報告書の提出を怠り、年度末から催告したにもかかわらず、1ヶ月間提出しない場合。
- ⑥ 提出する書類に虚偽があった場合。
- ⑦ その他大会組織委員会が問題があると判断した場合。

寄付先団体の取り消しによる寄付金の取り扱いについて

- ① チャリティランナーのチャレンジ募金は、ジャスト・ギビング・ジャパンに登録している「大阪マラソン組織委員会」に全額移行し、当該年度全団体に均等に配分します。なお、大会組織委員会に納入されたチャリティランナーの枠数分の費用は、資格を取り消した団体には返金いたしません。
- ② テーマカラーの指定がない募金箱で集められた募金は、大会組織委員会が、資格を取り消した団体を除く団体数で配分します。各ランナーがエントリー時に選んだ、チャリティテーマへの寄付金、なないろチャリティTシャツの寄付金も同様の扱いとします。テーマカラーの募金箱については、テーマカラーの団体で配分します。
- ③ 大会組織委員会は、寄付先団体の取り消しによる各寄付者からのクレーム、事務処理に関する出費、風評被害その他の損害について、当該団体に損害賠償請求できるものとして扱います。

【お問い合わせ・提出先】

大阪マラソン組織委員会事務局 チャリティ担当

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎35F

TEL：06-6210-9317 FAX：06-6210-9318（平日 午前10時～午後5時）

メール：charity@osaka-marathon.com